

先端教養科目「サステイナビリティ学入門」

時間割 後期水曜 1 限

教室 豊中キャンパス 実践教育センター共通講義棟 B-307

概要 20 世紀は化石燃料の利用を基盤とする技術革新と成長の時代でした。この技術革新と成長は私達に非常に豊かで便利な生活をもたらし、同時に健康、教育水準の改善を通じ平均的な人々の生活を豊かなものにししました。しかし、21 世紀に入り地球社会の存続を脅かすような問題が顕在化しています。地球温暖化や森林・生態系の破壊、エネルギー資源枯渇に代表される地球システムの問題、所得格差や貧困、食料・水問題や紛争といった人間の安全保障といった社会経済システムの問題です。このような問題は、それぞれのシステムが複雑に絡み合っており、対処療法的なアプローチでは解決することができません。言うならば、サステイナブルな地球社会にはそれぞれの問題を解決するのではなく、現代の大量生産・大量消費・大量廃棄に裏付けられる経済社会や都市のあり方を根本的に変えることが求められています。このサステイナビリティ学入門では、1) 地球社会の存続を脅かす問題や課題の全体像、2) 問題や課題を包括的に取り扱うための考え方、に触れながら特に日本社会のあり方について考えます。

スケジュール

現代社会におけるさまざまな持続可能性問題とサステイナビリティ学

1. 10 月 6 日 環境問題とサステイナビリティ学（東海明宏、工学研究科教授）
2. 10 月 13 日 大阪大学が育成すべき人材像について（馬場章夫、工学研究科長・環境イノベーションデザインセンター（CEIDS）センター長）

サステイナビリティの現状と課題

3. 10 月 20 日 地球温暖化問題とエネルギー（下田吉之、工学研究科教授）
4. 10 月 27 日 アジアの都市・環境問題と循環型社会（原圭史郎、CEIDS 特任講師）
5. 11 月 10 日 環境リスクと持続可能性（東海明宏、工学研究科教授）
6. 11 月 17 日 グローバルサステイナビリティの現状と課題（上須道徳、CEIDS 特任助教）
7. 11 月 24 日 南北問題とサステイナビリティ（上須道徳、CEIDS 特任助教）

持続可能性から日本の社会のあり方を考える

8. 12 月 1 日 人口減少社会のサステイナビリティを考える（堤研二、文学研究科教授）
9. 12 月 8 日 大阪大学キャンパスのサステイナビリティ（下田吉之、工学研究科教授）
10. 12 月 15 日 持続可能なものづくり（梅田靖、工学研究科教授）
11. 12 月 22 日 日本におけるエネルギーの持続可能性（山中伸介、工学研究科教授・SDC 副センター長）
12. 1 月 12 日 地方活性化の観点から見た電気自動車の活用法（尾崎雅彦、経済学研究科講師）
13. 1 月 19 日 大阪大学の研究シーズと環境イノベーション（下田吉之、工学研究科教授）
14. 1 月 26 日 日本の里山と生物多様性（栗本修滋、CEIDS 特任教授）